島根県立浜田高等学校

JSEC2022 花王スタディツアー

生徒たちの研究発表は、全国の花王グループ社員にオンラインで配信された。

科学技術人財の育成を応援している。2005年から「JSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)」に協賛し、 花王は、〝豊かな共生世界の実現〟には、科学技術から生まれる革新的なイノベーションが必要であると考え

タデ 1 ツア を体感す

SEC花王賞と花王奨励賞受賞校の

設の見学、若手研究者との交流が行われ1日目は、花王ミュージアムと研究施 史、清浄文化の移り変わりなどを学ん た。ミュージアムでは、花王グループの歴 教育学校の生徒5人と教員2人が東京 学附属高等学校、東京都立小石川 立浜田高等学校と、花王奨励賞の金沢大 ○2022」で花王賞を受賞した島根県 は4年ぶりのリアル開催となり、「JSE 催されているスタディツアー。2023年 研究とその熱意をたたえ、副賞として開 のすみだ事業場に招かれた。 だ。研究者のプレゼンテーションでは、 生物科学研究所の平田智也さん 穂さんの2人が高校生の時

れているか、商品開発にはどんな発想や述べられた。企業でどのような研究がさ 技術が必要なのかを目の当たりにする たちの

ちからは「スタディツアー

・を通して、自分が何

ル開催となった今回のスタディツアー。生徒た

新型コロナの影響もあり、4年ぶりのリア

を研究していきたいのかより明確になった」

帰り、研究を深めて新たな挑戦を続けて

くのだろう

ら体験。この日、最後に訪れたのはヘアケ やニーズを大切にしているからこそ、社 り、質感の違いを確かめた。 半分ずつをセットしたマネキンの髪を触 されたヘアスプレーと比較製品で、左右 ど固めたくない」という声に応えて開発 ア研究所。「巻いた髪をキープしたいけれ ことを、試験紙につけた香りを嗅ぎなが 製法や原料の産地によって香りが異なる 説明。香りの調合をするラボを訪れ、精 れていることがわかった」などの感想が 貢献するかなど多様な観点から考えら 会に役立つ製品ができるのだと思った」 「製品は、サステナビリティや社会にどう ツアー後、生徒からは「生活者の悩み

> れた。発な質疑が繰り広げら が投げかけられ、活 設定や研究をしよ うと考えたきっか し、研究対象の条件 など次々と質問 ぞれの研究に対

ら、高校生たちは、それぞれに課題を持 2日目は受賞研究の発 貴重な意見交換の機会か が行われた。3校そ

東京都立小石川中等教育学校

花王ミュージアム

高まる科学への探究心 究発表・交流会で

での学び、現在の研究などを紹介し

優れた研究に「花王賞」と「花王奨励賞」を贈っている。3月30、31日の2日間にわたり、受賞者と担当教員を 花王に招き、最先端の研究の見学や社員との交流を図る機会として「スタディツアー」が開催された。当日の

グローバルに活躍する先輩受賞者 成松紀佳さん(ミネルバ大学)

研究発表会には、JSEC2017で花王賞を受賞、2018年ISEF*に参 加し、物理天文学部門の優秀賞4等を受賞した成松紀佳さんもオン ラインで参加。成松さんは、熊本県立宇土高等学校から米ミネルバ 大学に進学し、コンピューターサイエンスを学んでいる。

自らの経験を通して、高校生たちに「何を学ぶかよりも誰とどう学 ぶかが大切。今いる環境から少し違う場所へ行くことで、価値観が

変化する。そんな少しのストレスと上手に付き 合ってほしい」とエールを送った。さらに、ISEF に参加する浜田高等学校のメンバーに、英語 せが重要など、経験者ならではのアドバイスを







金沢大学附属高等学校

植物乳液の防虫効果と利用法

アカハライモリの睡眠時間と音の選好

●一つの事象に深く興味を持ち、その謎を真摯に突き詰めていく姿に 感銘を受け、研究の原点を思い出しました。

参加した花王社員の声

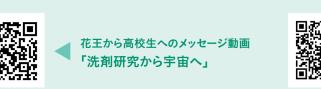
- ●「好き」や「想い」があふれている発表に引き込まれ、 自分自身の初心を思い出し、チャレンジのヒントをもらえました。 質疑や交流の中で、高校生との共創を感じることができました。
- ●ハイレベルな研究に驚き、感動を覚えました。これほどまで集中して 研究に取り組める高校生たちを今後も支援していけたらよいと思います。
- ●高校生の発表から学び、自身の研究視点の引き出しが さらに増えたように思います。リアルで発表者と直接議論ができて、 楽しい時間でした。彼らのさらなる飛躍を楽しみにしています。

科学の力で共に豊かな共生世界を実現

久保英明さん(花王株式会社常務執行役員 研究開発部門統括)



いずれの研究も柔軟な発想に満ちあふれており、 他では得られない刺激を受けました。花王は、組織 や専門分野の垣根を越えて交流することで、サステ ナブルな未来を切り開く新しいモノづくりに挑戦し ています。日本最高峰の本コンテストを通じて、世界 にはばたく若きサイエンティストを応援し、共に未来 を切り開いていきたいと思っています。





花王の理科教育支援

な生活に貢献できるような仕事に関わりた

メージができた」「自分も社会に出たら、豊か

一研究者の話を聞いて、卒業後

の研究の











小さなひらめきから大発見が生まれたり、

多くの失敗から新たな真実にたどり着いたり。

「もっと知りたい」という純粋な探究心は、世界を変える大きなチカラになる。

花王はこれからも、新しいチャレンジを通して

人と地球が共に輝く未来をめざします。

